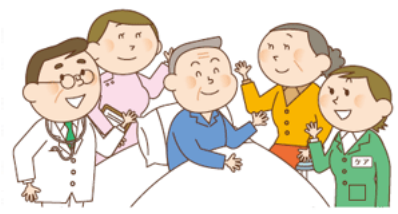


## 利用者主体のアセスメント実践編 ～チームアプローチの推進にむけて～

<b>日程</b>	令和2年9月12日(土) (13:30～16:30)
<b>対象者</b>	相談援助職者 及び興味のある方 推奨職員:(初級～中級・計画書作成者)
<b>料金</b>	会員(法人・個人) 5,000円 ・ 一般6,000円
<b>会場</b>	ウィリング横浜(横浜市港南区上大岡西 1-6-1 ゆめおおおかオフィスタワー内) 京浜急行・横浜市営地下鉄 徒歩3分

### 《カリキュラム》

- 1. チームアプローチとは?**  
なぜアセスメントにチームアプローチが必要なのか?
- 2. チームアセスメント(演習)**  
実際にチームでアセスメントをしてみよう!
- 3. アセスメントの統合**  
チームで行ったアセスメントを統合し、利用者像を作りましょう。



現在、介護・障害福祉どちらのサービスを提供するにもサービス利用計画書の作成は必須です。  
しかし、アセスメントは、一人で行うには難しいこともあります。今回は、事例を基に、実際にどのような点に着目してアセスメントを行えば良いかを、演習を取り入れながら参加者全員で考えながら学んでいきます。

### 【 講 師 】

**公益社団法人かながわ福祉サービス振興会**  
**かなふく人財センター 山影 彰大**

1999年介護支援専門員実務研修受講資格試験に合格し、2000年4月から介護支援専門員。  
2002年厚労省が主催した第1回ケアマネジメントリーダー養成研修修了。居宅介護支援事業所の管理者を経て、2007年より地域包括支援センター長、2015年より障がい者支援センター長。  
地域包括支援センター長時代に、アセスメントに着目した地域の介護支援専門員を対象にしたスーパービジョンを開始し、現在も定期的に勉強会を開催している。

法人名	※会員の方は必ず法人名をご記入下さい。		
事業所名			
会員種別	( ) 会員	( ) 個人会員	( ) 一般
個人会員番号			
連絡先	〈住所〉 〒 _____ ( 自 宅 ・ 法 人 ・ 事 業 所 )		
	〈mail〉	_____ @ _____	
	〈電 話〉	_____ - _____	〈ファックス〉 _____ - _____
法人サービス詳細	① 特別養護老人ホーム ② 介護老人保健施設 ③ 介護付有料老人ホーム ④グループホーム ⑤ 病院 ⑥ 訪問介護 ⑦ 通所介護 ⑧ 居宅介護支援 ⑨ 障害関係( _____ ) ⑩ その他のサービス( _____ )		

(公社)かながわ福祉サービス振興会(教育事業課) 行  
**FAX: 045-671-0295**  
TEL: 045-210-0788  
〒231-0023横浜市中央区山下町23日土地山下町ビル9階

### <参加者名簿>

お申込合計人数 ( \_\_\_\_\_ 名)

No.	フリガナ 氏 名	性別	ご職業	経験年数	①参加費
1		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー	年	1.会員(¥ 5,000)
			⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者		2.個人会員(¥ 5,000)
			⑧その他( _____ )		3.一般(¥ 6,000)
2		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー	年	1.会員(¥ 5,000)
			⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者		2.個人会員(¥ 5,000)
			⑧その他( _____ )		3.一般(¥ 6,000)
3		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー	年	1.会員(¥ 5,000)
			⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者		2.個人会員(¥ 5,000)
			⑧その他( _____ )		3.一般(¥ 6,000)

連絡事項	
------	--